



見えないものに導かれ、わたしはここに来た

トルコから出現した新しい才能 エミネ・ユルドゥルム第一回監督作

わたしは異邦人

ROSA FILM cop. URSULA FILM presents a film by EMINE YILDIRIM
APOLLON BY DAY ATHENA BY NIGHT | GÜNDÜZ APOLLON GECE ATHENA
EZGİ ÇELİK BARIŞ GÖNENEN SELEN UÇER GİZEM BILGEN NEYRA KAYABAŞI MELİH DÜZENLİ DENİZ TÜRKALİ LALE MANSUR
BÖRNEK REZİROĞLU MUSTAFA SÜRÜCÜ ZAHARİYE BAKIR METİN BOZKURT TAYYAR AKIN ÖMÜR CEMRE ÇAN KARAAHMETLİ YILDIZ KAYA SELDA DÜRNA
YILDIZ KAYA ELİF TAŞCIOĞLU YILDIZ KAYA SELDA TASKIN YILDIZ KAYA BARIŞ AYGEN YILDIZ KAYA DİL DE MAHALİ EMİNE YILDIRIM YILDIZ KAYA EMİNE YILDIRIM

監督・脚本 エミネ・ユルドゥルム | 2024年 | カラー | トルコ | トルコ語 | 112分 | 映画祭タイトル「昼のアポロン 夜のアテネ」 | 配給 パンドラ



<https://pandora-co.jp>



家族、孤独、そして
自らの道を切り開く
女性であることの選択と
その帰結など、
多くのことが込められている。
思慮深く魅惑的な作品だ。

— Roger Ebert.com

APOLLON BY ATHENA DAY BY NIGHT

この場所で本当のわたしを見つける
地中海に面したトルコの古代都市シデ 母親を探す旅の終着点で出会ったのは——

孤児として育ったイスタンブール生まれのダフネ。人嫌いの彼女がシデにきた目的は、自分を捨てた母親を探すこと。ダフネに残された唯一の手がかりは、遙か昔にトルコの名もない遺跡で撮影された、ほやけた母親の写真だけ。あてのない“人探し”を始めたダフネは、やがてシデにとどまる不思議な人々と出会い、彼らの協力を得ることに。「見返りは何？」彼らが助けてくれる度、尋ねるダフネ。果たして母は見つかるのだろうか？そしてダフネに思いもよらない結末が訪れる。

黄昏時 古代から続く悠久の流れの中 人びとの思いが交錯する

愛する娘に気持ちを伝えたい娼婦、口のきけない女性神官、本心を明かさない年齢不詳の男…ダフネが会える不思議な人びともまた、彼女と同様ある「思い」を捨てられずシデに残っていた。昼から夜へと移り変わる濃密な空気の中、ダフネはこの地にとどまる者たちの思いに直面する。シデは古代ギリシャでは港町として栄えた歴史ある町。アポロン神殿や円形劇場など2000年も前の空気が色濃く漂う街で、ダフネに次々に訪れる「目に見えないもの」との出会い、彼らとの交流を通して、ダフネは新たな自分を知っていく。

東京国際映画祭「アジアの未来作品賞」受賞 トルコから現れた新しい才能

カンヌ国際映画祭常連となっている、『雪の轍』『二つの季節しかない村』のヌリ・ビルゲ・ジェイランを筆頭に、『裸足の季節』のデニス・ガムゼ・エルキュウェンなど多くの映画作家を送り込んでいるトルコから新たな才能が誕生した。本作がデビュー作となる女性監督エミネ・ユルドゥルムは、アポロンやアテナなど、ギリシャ神話に登場する神々から着想を得た幻想的な物語を取り込みつつ、現代を生きる若き女性の成長譚に昇華させたトルコ期待の新人監督である。〈自らのルーツを辿る〉という普遍的なテーマを、トルコの古代遺跡群を背景に見事に展開させた。

GÜNDÜZ APOLLON GECE ATHENA

監督・脚本：エミネ・ユルドゥルム | キャスト：エズキ・チャリキ | ハルシュ・ギョネネン | セレン・ウチェル
2024年 | カラー | トルコ・トルコ語 | 112分 | 映画祭タイトル「昼のアポロン 夜のアテナ」
日本版字幕：森澤海郎 | 宣伝広報：スリーピン | 配給：パンドラ



www.pan-dora.co.jp/ihojin/



@ihojinmovie



@ihojinmovie

8.23ロードショー
sat

料金

一般2,000円

大学&専門学校生・シニア1,400円

ユーロスペース会員・シニア1,300円

ユーロスペース

EUROSPACE

渋谷・文化村前交差点左折

tel 03-3461-0211

www.eurospace.co.jp

